

平成20年度 事業計画

日本原子力学会関西支部の平成20年度事業は、関西地域における原子力・放射線の研究利用を促進するとともに、原子力に関する知識の普及をはかることを目的とする。

このために、「講演会」「原子力オープンスクール」「見学会」等を開催するとともに、学会と産業界との情報交流、人的交流を図り、関係機関が行う国民各層への原子力知識の普及活動に積極的に協力していく。

これらの事業の実施にあたっては、学会本部や関西原子力懇談会、関連学協会等との連携を保ち、効果的な運営に努める。

[1] 総会

定例の支部総会を開催（毎年4～5月）し、事業計画並びに収支予算、役員を選任等に関する重要事項を審議、決定する。

[2] 役員会

年に数回開催し、学会本部との連携のもとに支部事業の企画、運営に努める。
なお、適宜正副支部長会合を開催し、事業推進に係わる意見交換を行う。

[3] 講演会等

内外の原子力関係者を招き、原子力開発、放射線利用等に関する講演会を開催し、情報の交換を行う。また若手研究者を対象とした研究発表会を開催する。

[4] 見学会

公共及び民間の原子力関連施設、研究機関等の見学を行い会員相互の啓発を図る。

[5] 新年交歓会

関西原子力懇談会と共催で、平成21年の新春に、原子力関係者の交流と親睦を図る交歓会を開催する。

[6] マスコミとの情報交換会

関西のマスコミ各社との交流を保ち、原子力に係わる各種情報の提供を図り、意見交換を図る。

[7] 原子力知識の普及啓発活動への協力

関係機関が行う国民各層への原子力知識の普及啓発活動に際しては、これに積極的に協力する。

[8] 国際交流

原子力関係の外国人留学生・研究者との交流の促進を行う。

[9] 日本原子力学会関西支部賞の贈呈

原子力・放射線等の広報活動や学術・技術支援活動を行った個人や団体に対して「功績賞」を授与し、また学会・国際会議において優れた研究発表を行うなど関西支部の活動に貢献した学生に対して「学生賞」を贈呈し、関西支部の活性化を図る。

[10] 原子力オープンスクール

活動11年目を迎える本年度も、次世代層を中心に原子力オープンスクールを実施し、正しい原子力知識の普及啓発を図る。(かんさいアトムサイエンス倶楽部)

[11] 本部事業への協力

・研究専門委員会の活動推進に協力する。

「放射線と社会・環境」研究専門委員会（継続）（主査：神戸大学小田 啓二 氏）

・公衆審査資料等の閲覧協力

[12] 関係団体への協力（後援、協賛等）

他学会等への後援、協賛

[13] 関西支部創立50周年記念行事の検討

以上